

会議録(3)

発言者	発言内容
	午前10時00分 開会
主幹	<p>1 開会</p> <p>皆様ご多用のところをご出席いただきまして誠にありがとうございます。本日は小槻副会長、平良委員、野村委員、平野委員からご欠席の連絡をいただいております。飯能市立博物館条例第15条第2項に規定されています「委員の2分の1以上の出席」をいただきましたので、これより令和5年度第2回飯能市立博物館協議会を開会いたします。</p>
主幹	<p>2 あいさつ</p> <p>はじめに、馬場会長にごあいさつをお願いします。</p>
会長	(会長あいさつ)
主幹	<p>ありがとうございました。</p> <p>続きまして教育部長よりあいさつを申し上げます。</p>
部長	(部長あいさつ)
主幹	<p>なお、傍聴者ですが、本日は申し込みがありませんでしたのでご報告いたします。</p> <p>これより議事に入ります。議事の進行につきましては、条例第15条第1号の規定により、会長をお願いいたします。</p>
会長	<p>3 議事</p> <p>それでは議事に入ります。本日の議事について説明をお願いします。</p>
館長	<p>本日の議事は次第掲載のとおり、3件です。まずは「(1)令和5年度事業報告及び今後の日程」について、ご審議いただきたいと考えております。説明を申し上げます。</p> <p>(資料1に基づいて説明)</p>
会長	<p>ご説明ありがとうございました。それでは、「(1)令和5年度事業報告及び今後の日程」について、質疑のある方はお願いします。</p>
委員	<p>自然写真展「牧野富太郎ゆかりの植物たち」は時宜を得た展示でした。特別展「原市場村秘史—受け継がれる記録と記憶—」については、地域に密着した展示です。どちらも良い内容でした。</p>

	<p>収蔵資料目録第10号の刊行にあたって、その編集作業等に古文書整理型市民学芸員の参加はありますか。</p>
館長	<p>翻刻作業をともに実施しています。</p>
委員	<p>刊行の際には、古文書整理型市民学芸員の方々の名前を翻刻者として入れるようにしてください。こうした試みはぜひ継続してほしいです。</p>
館長	<p>承知しました。</p>
委員	<p>特別展「原市場村秘史―受け継がれる記録と記憶―」の評判はいかがですか。</p>
館長	<p>アンケート調査を実施中なので詳細は分かりませんが、所感としては好評です。</p>
主事	<p>関連事業「展示解説」では原市場地区在住の方の参加が多く、地元の歴史・文化について知りたいという欲求が強いように感じました。</p>
委員	<p>名栗在住ですが、原市場については隣接地区ということもあり、親近感があります。特別展の実施によって、地域の人々が博物館に親しみをもち、より気軽に赴ける場所になったのではないかと考えます。</p>
館長	<p>展示解説は10月22日(日曜日)に33人、11月11日(土曜日)に9人の参加者がありました。33人は展示室に人が溢れるほどの人数で、過去最多です。このことから、本展への関心が強かったことがうかがえます。</p>
会長	<p>博物館へバスに乗って来たのですが、中央地区行政センター・公民館に特別展を広報する横断幕がありました。こうした広報は今までも実施していたのですか。</p>
館長	<p>特別展や収蔵品展を開催する際は実施していました。</p>
会長	<p>原市場地区へはどのように広報をしたのですか。</p>
館長	<p>原市場地区に対してチラシを全戸配布し、飯能市自治会連合会原市場支部で報告しています。</p>
会長	<p>自然講座「植物標本づくりを体験しよう」は自然担当学芸員が講師だったのですか。</p>
主査	<p>講師については市内在住で有限会社トキワ環境の小澤正幸氏に依頼しました。小澤氏は全国各地の植物調査を実施しています。</p>

会長	自身で標本をつくる、というような講座は博物館として評価できます。 前年度に比べると、入館者が10月に減少しています。その理由はわかりますか。
館長	現状ではわかりません。
会長	他にご意見等ありますか。
委員	(なしの声あり)
会長	では次に、「(2) 令和5年度博物館評価」について、説明をお願いします。
館長	(資料2に基づいて説明)
会長	ご説明ありがとうございました。それでは、「(2) 令和5年度博物館評価」について、質疑のある方はお願いします。
委員	アンケートでは、本展の評価はどうだったのでしょうか。
館長	入場者数4,177人、アンケート回収は92人で回収率は2.2%でした。「本展で新たな発見がありましたか」という設問に対して、「とても」が59.8%、「まあ」が38.0%、「あまり」が1%でした。
委員	達成率90%とされていますが、素晴らしい結果だと思います。定点撮影継続の要望があったとのことですが、市制施行100周年に向けて博物館で実施しても良いのではありませんか。 それにあわせて商店街等に掲げられた様々なバナー等、博物館資料として収集してはいかがでしょうか。
館長	当館定点撮影プロジェクトについては現在活動休止中です。SNSに平成の頃に撮影した成果を掲載したのですが、インプレッション数が合わせて10,000を超える程多くの方々に興味を持ってもらいました。当時を知る人、知らない人も、町の移り変わりには興味があることを実感しました。 バナー等については、市の歴史の移り変わりを示す資料であった場合は収集しています。
委員	博物館では古写真を含め、様々な写真を収集してきましたが、それらは本写真展で活用されたのですか。
館長	市の広報を担当する部署で撮影した写真も収集していますが、それらを多く展示しました。

委員	一般の方から提供のあった写真についてはいかがですか。
館長	一般の方から収集した写真についてはほとんど使用していません。ですが、定点撮影プロジェクトのメンバーの方々から様々な写真の提供があり、それらは活用しています。
委員	開催にあたり、株式会社ブラウザ文化新聞編集部から写真等の提供があったとのことですが、そうした写真等のデータは文化新聞株式会社に引き継がれているのでしょうか。
館長	引き継がれているそうです。
会長	「館内の評価」の項目について、マイナスの評価が多いです。先ほどのアンケートの評価ではプラスの評価の方が多かったのですが、そのことは記載しなくて良いのですか。
館長	先般の会議でアンケートの有効数は最低でも400程度というご意見がありました。よって出していません。
会長	確かに有効数に満たないですが、92件の方のご意見も反映させた方が良いのではありませんか。
委員	会長の指摘通り、観覧者の生の声ですので、反映させてよいと思います。
会長	写真を一般から募集するというのは良い試みだったと思います。達成率は90%でよいですか。
委員	(異議なしの声あり)
会長	以上の指摘等を踏まえて「コメント」・「課題と方向性」の欄を記入してください。
会長	他にご意見等ありますか。
委員	(なしの声あり)
会長	それでは「(3)令和6年度主要事業計画(案)」について、説明をお願いします。
館長	(資料3に基づいて説明)
会長	ご説明ありがとうございました。それでは、「(3)令和6年度主要事業計画(案)」について、質疑のある方はお願いします。

委員	<p>来年度の特別展のテーマ等、決まっていることがあれば教えてください。</p> <p>また、今年度は加治小学校歴史クラブへの出張授業が多いようですが、彼らの調査・研究成果を来年度、博物館に展示する予定はないのでしょうか。</p>
館長	<p>特別展のテーマ等については現在館内で調整中です。</p> <p>加治小学校歴史クラブの調査・研究成果をまとめ、形にすることを意識していなかったため、次年度以降実施する際には、そのことを意識して対応します。</p>
会長	<p>委員の質問に関連しますが、加治小学校歴史クラブや「総合的な学習の時間」への出張授業について、各学校の担当教員の裁量によって依頼されるのですか。</p>
館長	<p>ご指摘のとおりです。依頼内容に応じて、授業が可能かどうかを判断し、不可能であれば外部の方に依頼することもあります。</p>
会長	<p>小学3年生見学対応で博物館へ見学・体験に行く判断は学校に委ねられているのですか。</p>
館長	<p>ご指摘のとおりですが、新型コロナウイルス感染症は「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」上の位置付けが5類感染症になったことを踏まえ、市内全小学校の児童にご来館いただくことを前提としています。</p>
委員	<p>今後の博物館運営について、市民と協同して広報活動を行ってはいかがでしょうか。先ほど委員の話にもありましたが、博物館は気軽に行くことのできる施設になりつつありますが、現状ではそうなっていません。</p> <p>より多くの方に興味・関心を持ってもらい、来館を促すためにもマスコットキャラクターを製作してはいかがでしょうか。例えば常設展にある土偶は可愛らしく、これをモチーフにしたキャラクターなどは人気が出ると思うのですが。マスコットキャラクターの募集をする、というのも一つの事業にできそうです。愛称の「きつとす」というのも、あまり広まっていないように思います。</p>
館長	<p>ご意見ありがとうございます。愛称については成人以上の世代にはなかなか浸透していないのが現状です。マスコットキャラクターについては検討してまいります。</p>
会長	<p>日常の仕事に追われてしまうのは理解しますが、調査・研究においては、他館の取り組み見ることも重要です。それぞれの博物館における様々な取り組みは多様であり、県内・県外を問わず、専門職員である学芸員が公務で赴くことはできないのでしょうか。博物館経営の視点から考えて職員研修として位置付けてみては。研修の報告書を作成し、他の学芸員に情報を共有することもできます。</p>

館長	ご指摘のとおりです。学芸員が個人的に他館の取り組みを確認するだけでなく、職員研修として位置付け、人材育成を行えるように検討してまいります。
委員	特別展等のアンケートへの回答が少ない、ということでしたが、紙だけでなく電子での回答も可能にしてはいかがでしょうか。
館長	昨年度と今年度の特別展、また幾つかの展示では電子でアンケートを実施しています。しかし、電子でアンケート回答を可能にしても回答が大幅に増える、ということは現状ありません。
会長	他にご意見等ありますか。
委員	(なしの声あり)
会長	それでは、「(4)その他」について、説明をお願いします。
館長	(資料「第71回全国博物館大会の決議書」に基づいて説明)
会長	決議書に記されているように、博物館を巡る課題を改めて認識しました。
会長	以上で、本日予定した議事につきましては、全て終了いたしました。進行を事務局へお返しいたします。
主幹	4 その他 ご審議ありがとうございました。それではその他について、何かございますか。
委員	(なしの声あり)
主幹	それでは「4 その他」は以上といたします。
主幹	5 閉会 それでは以上をもちまして令和5年第2回飯能市立博物館協議会を閉会いたします。
	午前11時00分 閉会

議事の内容、概要を記載し、その相違ないことを証するためにここに署名します。

令和 年 月 日

会長の署名 _____